

奈良県で川のポイ捨てを減らそう

3年1組2番 尹 茜婷
3年2組1番 今西美優

Keyword: 「環境問題」 「ポイ捨て」 「秋篠川」 「海洋汚染」

1. はじめに

この探究を始めたきっかけは、川のゴミのポイ捨て減少なら、高校生の私達でも取り組むことができ、環境問題の解決に一歩踏み込めると思ったからである。探究のテーマを決定する時に、海岸汚染に取り組みたいと思い、海に面していない奈良県でできることは、最終的に海につながる川を汚染から守ることであるため、私達はこのテーマに決定した。そのためゴミのポイ捨てを行う人々の心理状態を変化させるために私達は心理学や行動経済学の知識を駆使して様々な取り組みを行った。

2. 序論

「川付近のゴミの減少を実現するためには、どうすればよいか」という問い合わせ立て、そこから問い合わせの探究のため、市役所に話を伺いに行ったり、奈良県内のボランティアで活動をしてきた。私達が毎月参加しているボランティアを主催している「秋篠川源流を愛し育てるの会」のみなさんに対しアンケートを行い、その結果私達は看板を設置しようと試みた。秋篠川源流を愛し育てるの会とは、毎月第三週土曜日に秋篠川にて、秋篠川周辺の地域の人々と共に清掃活動を行っている団体である。

3. 本論

私達は、まず具体的な情報を得たかったので、修学旅行で金沢市役所に訪れた。その時には、環境政策課の高藤聖也さんにお話しを伺うことができた。具体的に聞いたこととしては、川の汚染をどのように防ぐか、それをどのように行なっているのか、他の組織との連携はどのようなものであるか、である。

しかし残念なことに、そこで聞かせていただいた話は、かなり専門的な物で、かつ他の組織との連携が多く関係していたので、私たち高校生でこれらを行うことはかなりの困難を伴うものだったので、実践に移すことは断念した。

そこで私たちは、秋篠川源流を愛し育てるの会の皆様にアンケートを取ることにした。その結果、看板の設置という項目に多くの票が入っていた。

下記の資料はアンケートの結果の一部分である。

こんにちは、奈良県立国際高校の今西美優と尹茜婷です！
私たちは秋篠川のゴミのポイ捨て減少のために授業で日々活動しています。
秋篠川を愛し育てるの会の皆さんとの清掃活動にも参加しています。
アンケートの回答にご協力お願いします。

1. 秋篠川の周辺はゴミのポイ捨てが多いと思う。

① はい

2. いいえ

2. ゴミにはどのような種類が多いと思いますか。

- タバコの吸い殻
 缶・ペットボトル
 葉子袋
 紙ごみ
 ビニール袋
 その他(下記の空欄に自由に書き込んでください)

--

3. どうすればゴミの減少に繋がると思いますか。(複数選択可)

- 看板の設置
 清掃活動を増やす
 ゴミ箱の設置
 定期的に巡回する
 その他(下記の空欄に自由に書き込んでください)

車内からのポイ捨てや家庭ゴミの投棄が多い
市民やドライバーの公道徳心の向上に期待する人
などと思う。市民団体や県市の広報活動に期待

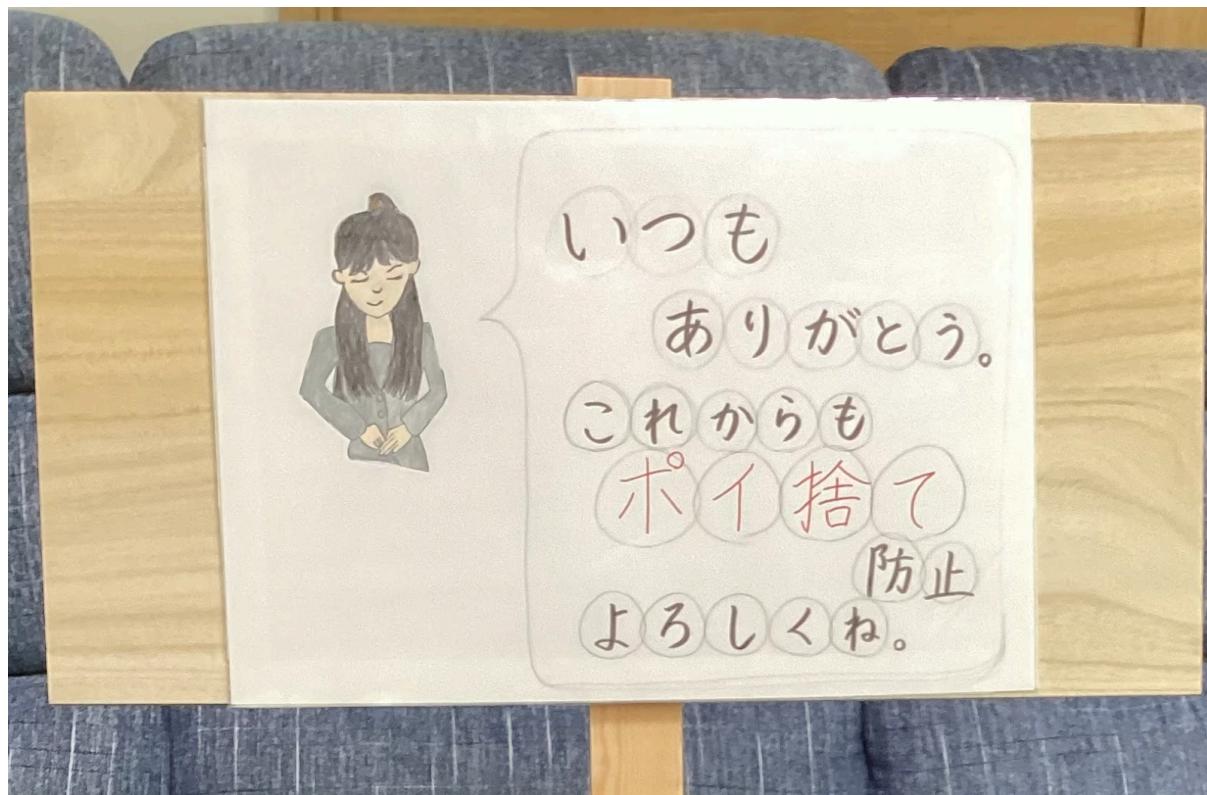
4. 私たちは今探究に行き詰まっています。高校生の私たちにできることや何かいい考えがあればありましたら、自由にお書きください。

継続は力なりです。
毎月の日曜日は地域活動やボランティア活動における日曜日
決めて活動したりどうぞ」というふうか
ex. 当会は毎月第3土曜日8時～10時まで

そこで私たちは、奈良市役所を訪れて、看板の設置や申請書などについて、相談をした。その結果、奈良県庁の奈良土木事務所にEメールを送ることが決定した。

(看板の設置場所によって、管理者が異なるからである。)

そして私たちは、DIY (Do It Yourself) で自分たちオリジナルの看板を完成させた。



奈良県庁にメールを送り、私たちの看板を見せたものの、耐久性に問題があったために、奈良土木事務所の皆様が、デザインは私たちが考案したものを使い、看板本体を製作・管理していただくことになった。しかし、論文を書いている期間内に看板の設置の続行に移すことができなかったため、ここでは看板の設置後の記録は残さないものとする。

4. 結論

看板をたてるという具体的な目標ができるまでは、本当に色々なことを調べたりと、物凄く苦労した。だが、今回のこの経験を経て、周りの人からの協力、自分たちでアイディアを生み出すことの大切さを改めて感じた。周りの人の協力により、今回のような高校生だけではできないことも可能になったのだ。

今後の課題としては、ゴミを減らすことについて、さらに専門的な知識を取得し、色々な視点から、どのようにしてゴミのポイ捨てを減らすのか、をアプローチすることである。これからも様々なことについて探求していきたい。

5. 参考文献・出典

2022年『奈良県で海を守る』奈良県立国際高校